

特別支援教育

1. 目標

一人ひとりの発達段階に応じた学習内容を用意し、意欲的な態度をはぐくむ。
人間的なつながりを深め、社会生活や集団生活に積極的に参加できる子どもを育てる。

2. 努力点と取り組み

障害のある子どもの発達の道筋を明らかにし、一人ひとりに応じた指導をする。
学習内容を工夫して、基礎学力を身につけさせる。
日常生活や学習活動の観察・保護者からの情報などから、問題となるつまづきや状況を正確には青くするように努め、援助シートに記入する。
子どもの実態に応じた環境を整える。
全児童や全職員との交流を密にし、共に温かい人間関係を育てる。
現職教育の場で、特別支援教育に関する研修を積み、正しい理解と認識を深め、共通理解をもって指導にあたる。
特別支援教育の意義を保護者に正しく理解してもらうため、啓発に努める。